

水は大切な資源

志學館中等部 一年 徳山 翔太

僕は中学生になるまで、まだ飲める水も簡単に捨てていた。中学生になったある日、冷水機の水を、ふざけて床に吐いて遊んでいる生徒を見かけた。それを見てとても見苦しいと思ったが、よく考えてみると、自分とやっている事は同じだと思い、とても恥ずかしくなった。例えば、顔や手を洗う時に水を出しっぱなしにしたり、浴槽にお湯をためているのにシャワーをどんどん使ってしまったりと、思い出すと色々と無駄遣いをしている事に気が付いた。

日本は、綺麗な水が水道水からいくらかでも出るので、少しくらい無駄にしても大丈夫、という考えで無駄遣いをしてしまう人が数多くいると思う。しかし、世界では、これは当たり前前の事ではないようだ。調べてみると、蛇口をひねればそのまま水が飲める国は、世界百九十六カ国のうち、日本を含めて世界に

八カ国しかないそうだと。

このような事から、今、世界では水に関するどのような問題があるのか、自分にできる事はどんな事があるのかを考えて、少しでも世の中のためになれるように、この作文を書いてみようと思った。

世界で一番汚い川は、インドネシアのシタルム川だ。川の水面は、ごみで埋め尽くされていて、動物の死骸が流れている。また、工場排水で汚れているにも関わらず、人々はこの水を生活用水や農業などに利用しているそうだと。日本では考えられない事だと思った。飲み水はミネラルウォーターしか飲まない。水道水は安全に管理されておらず、糞尿や菌ウイルスが水道水に混じっているからだ。

また、アフリカの貧しい地域では井戸がなかったり、壊れたまま修理されていないため、川や池から汲んだ不衛生な水を飲み水として使っている。そのため、伝染病が流行ったり、抵抗力の弱い子供が亡くなったり、後遺症が

残ってしまったたりするようだ。

日本人は一人当たり一日約二百リットルの水を使用している一方で、水不足の国は一人当たり一日約百三十リットルしか水を使用していない。ただでさえ水を多く使用している日本人は、水の無駄遣いを抑える必要があると分かる。また、能登半島地震の時には水の問題はとても深刻な問題だった。トイレは水が流れてこない、水道が止まり水も飲めない、風呂にも入れない、片づけをしたくても土砂を流す水もないため掃除もできない、という過酷な状況になった。もしも僕がその状況になったら、のどが渴いて食欲もなくなるだろうし、体や頭が洗えないと、かゆくなったり、臭くなったりして僕には耐えられないと思う。水が無いという事は、とても不便な生活になるだけでなく、心まで貧しくなるだろうなと思った。

だからこそ日本人は、様々な環境の被害に備えて、水を大切に扱う必要がある。節水の

手段として洗濯の時には、回数を減らしてま
とめて洗ったり、風呂の残り湯を使用したり
する。シャワーの水や、水道水を出しっぱな
しにしない。皿を洗う時には、油を紙でふき
取ってから洗ったり、食洗機を使ったりする、
などの工夫が、私たちに出来る事だと思う。

今までの自分は、まだ使える、まだ飲める
水でも構わず捨てていた。しかし今回の作文
で水について調べてみて、改めて水の大切さ
をひしひしと感じた。国によっては水道水を
飲むことは常識とされていない事。日本は安
全な水道水を設備しているため、蛇口をひねっ
たら飲み水が出てくるという事。日本もいつ
何が起きるかわからないので、常に油断をせ
ずに、節水をする事が大切だ、という事が分
かった。これからは、水という資源に感謝し
て、大切に扱っていかうと思った。